

令和6年度

仙台市水道事業会計 決算説明資料

- 1. 決算の概況 … P2
- 2. 事業実績表 … P3
- 3. 予算決算比較表 … P4 ～ P9
- 4. 建設改良事業の概要 … P10 ～ P11

仙台市水道局

1. 決 算 の 概 況

本年度の水道事業は、「仙台市水道事業基本計画（令和2年度～令和11年度）」と、その実施計画に当たる「仙台市水道事業中期経営計画（令和2年度～令和6年度）」に基づき、「水道システムの最適化」，「持続可能な経営」，「関係者との連携強化」に取り組みながら，お客さまが実感できる良好な水質の実現と水道水の安定供給に努めてまいりました。

事業実績につきましては，年間総配水量が1億1,951万5千立方メートル，前年度比25万9千立方メートル（0.2％）減，年間有収水量が1億1,258万4千立方メートル，前年度比13万7千立方メートル（0.1％）減となり，有収率は前年度より0.1ポイント向上して94.2％となりました。

経営面におきましては，アセットマネジメントによる施設の適切な維持管理や老朽化した管路の更新，水需要に合わせた施設の再構築など，経営基盤の強化に向けて取り組むとともに，今後5年間の実施計画となる「仙台市水道事業中期経営計画（令和7年度～令和11年度）」を策定しました。

建設改良事業につきましては，配水管整備事業で，配水支管の更新工事などを行い，事業費91億4千8百万円を支出し，配水管延べ48,087メートルを布設しました。また，施設整備事業では，配水施設の耐震補強工事や非常用自家発電設備更新工事等の災害対策関連事業に加え，中原水系苦地沈砂池油分計設置工事等の安全対策関連事業などを行ったほか，塩竈市との共同浄水場整備のための基本設計業務を進めるなど，事業費37億9百万円を支出しました。

財政状況につきましては，収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）において，総収益277億8千3百万円に対し，総費用233億3千5百万円で，差引44億4千8百万円の純利益となりました。

以上が決算の概況ですが，今後は，人口減少に伴う水需要の更なる減少が見込まれる中，拡張期に集中的に整備してきた施設の老朽化対策に加え，激甚化する自然災害対策としての耐震化を進めていく必要があります。引き続き，計画的かつ効率的な事業運営による経営基盤の強化とお客様サービスの向上に努め，安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて，一層信頼され，地域社会の発展に貢献できる水道事業の構築を目指してまいります。

2. 事 業 実 績 表

区 分 \ 年 度	単位	令和6年度 (E)	令和5年度 (F)	対前年度比較	
				増減 (△減) (E－F)	比率 (E/F)%
計画給水区域内人口 (A)	人	1,062,932	1,064,440	△ 1,508	99.9
給水人口 (B)	人	1,060,363	1,061,787	△ 1,424	99.9
年間総配水量 (C)	m ³	119,515,405	119,774,038	△ 258,633	99.8
（仙台市配水量）	m ³	（114,983,123）	（115,221,329）	（△ 238,206）	（99.8）
（他市町分水量）	m ³	（4,532,282）	（4,552,709）	（△ 20,427）	（99.6）
配水能力	m ³ /日	407,470	406,170	1,300	100.3
一日平均配水量	m ³	327,439	327,251	188	100.1
一日最大配水量	m ³	343,732	343,998	△ 266	99.9
使用給水栓数	栓	496,101	492,141	3,960	100.8
年間有効水量	m ³	115,363,704	115,491,534	△ 127,830	99.9
年間有収水量 (D)	m ³	112,584,322	112,721,483	△ 137,161	99.9
配水管延長	km	3,551	3,542	9	100.3
職員数 （管理者除く）	人	405	403	2	100.5
普及率 (B/A)	%	99.8	99.8	0.0	－
有収率 (D/C)	%	94.2	94.1	0.1	－

3. 予 算 決 算 比 較 表

収益的収入

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 6 年 度 予 算 額				令 和 6 年 度 決 算 額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)－(A)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流用増減額	合 計 (A)		
水 道 事 業 収 益	30,087,387	198,000	0	30,285,387	30,362,434	77,047
営 業 収 益	27,058,155	56,000	0	27,114,155	27,121,932	7,777
給 水 収 益	25,769,185	46,000	0	25,815,185	25,885,286	70,101
受 託 工 事 収 益	111,352	0	0	111,352	55,115	△ 56,237
そ の 他 営 業 収 益	1,177,618	10,000	0	1,187,618	1,181,531	△ 6,087
営 業 外 収 益	3,025,251	142,000	0	3,167,251	3,234,465	67,214
受 取 利 息	8,570	15,000	0	23,570	24,063	493
不 動 産 賃 貸 料	37,958	0	0	37,958	37,205	△ 753
水 道 加 入 金	1,310,340	0	0	1,310,340	1,298,033	△ 12,307
他 会 計 補 助 金	338,460	0	0	338,460	338,460	0
長 期 前 受 金 戻 入	1,297,028	0	0	1,297,028	1,330,313	33,285
雑 収 益	32,895	127,000	0	159,895	206,391	46,496
特 別 利 益	3,981	0	0	3,981	6,037	2,056
固 定 資 産 売 却 益	1	0	0	1	908	907
過 年 度 損 益 修 正 益	3,980	0	0	3,980	5,129	1,149

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予 算 決 算 比 較 表

収益的支出

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 6 年 度 予 算 額				令 和 6 年 度 決 算 額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)－(A)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△ 減)	流 用 増 減 額 (△ 減)	合 計 (A)		
水 道 事 業 費 用	27,219,774	△ 730,000	0	26,489,774	24,779,315	△1,710,459
営 業 費 用	26,077,951	△ 674,000	0	25,403,951	23,863,843	△1,540,108
人 件 費	3,517,670	△ 236,000	0	3,281,670	3,104,227	△ 177,443
物 品 費	520,453	△ 72,000	0	448,453	374,745	△ 73,708
経 費	8,189,134	△ 351,000	0	7,838,134	6,810,202	△1,027,932
受 水 費	4,928,450	0	0	4,928,450	4,815,135	△ 113,315
減 価 償 却 費	8,591,904	0	△ 85,452	8,506,452	8,358,871	△ 147,581
資 産 減 耗 費	330,340	△ 15,000	85,452	400,792	400,663	△ 129
営 業 外 費 用	1,066,223	△ 56,000	0	1,010,223	890,213	△ 120,010
支 払 利 息	611,877	△ 79,000	0	532,877	532,151	△ 726
消費税及び地方消費税	450,346	23,000	△ 4,000	469,346	352,065	△ 117,281
雑 支 出	4,000	0	4,000	8,000	5,997	△ 2,003
特 別 損 失	45,600	0	0	45,600	25,259	△ 20,341
過 年 度 損 益 修 正 損	45,600	0	△ 567	45,033	24,693	△ 20,340
固 定 資 産 売 却 損	0	0	551	551	551	0
そ の 他 特 別 損 失	0	0	16	16	15	△ 1
予 備 費	30,000	0	0	30,000	0	△ 30,000

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予算決算比較表

収益的収支

(単位：千円)

区 分 科 目	令和6年度予算額				令和6年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)－(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	合計 (A)		
水道事業収益（再掲）	30,087,387	198,000	0	30,285,387	30,362,434	77,047
水道事業費用（再掲）	27,219,774	△ 730,000	0	26,489,774	24,779,315	△1,710,459
当年度純損益（税込み）	2,867,613	928,000	－	3,795,613	5,583,119	1,787,506
当年度純損益（税抜き）	2,004,464	898,269	－	2,902,733	4,447,872	1,545,139
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	0	0	－	0	0	－
※その他未処分利益剰余金変動額	0	4,163,820	－	4,163,820	4,163,820	－
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	2,004,464	5,062,089	－	7,066,553	8,611,692	1,545,139

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益（税抜き）、繰越利益剰余金、その他未処分利益剰余金変動額及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

※ その他未処分利益剰余金変動額は、建設改良積立金の使用によって発生する未処分利益剰余金の額である。

○ 未処分利益剰余金の処分（案）について

未処分利益剰余金8,611,692千円については、4,163,820千円を資本金に組み入れ、4,447,872千円を建設改良積立金に積み立てる。

3. 予 算 決 算 比 較 表

資本的収入

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 6 年 度 予 算 額					令和6年度 決 算 額 (B)	翌 年 度 繰 越 額 (C)	増 減 額 (△ 減) (B)+(C)-(A)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△ 減)	流用増減額	繰 越 額	合 計 (A)			
水道事業資本的収入	7,840,395	101,500	0	2,248,925	10,190,820	6,064,157	2,801,150	△1,325,513
企 業 債	5,116,000	0	0	1,926,000	7,042,000	4,084,000	1,706,100	△1,251,900
固定資産売却代金	8,580	0	0	0	8,580	8,648	0	68
出 資 金	2,146,842	193,500	0	161,814	2,502,156	1,475,097	858,908	△ 168,151
国 庫 補 助 金	116,134	101,000	0	50,675	267,809	76,468	191,699	358
開 発 負 担 金	236,434	△ 123,000	0	0	113,434	126,535	0	13,101
負 担 金	198,951	△ 58,000	0	110,436	251,387	286,985	44,443	80,041
その他資本的収入	17,454	△ 12,000	0	0	5,454	6,424	0	970

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予 算 決 算 比 較 表

資本的支出

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 6 年 度 予 算 額					令和6年度 決 算 額 (B)	翌 年 度 繰 越 額 (C)	増 減 額 (△ 減) (B)+(C)-(A)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△ 減)	流用増減額	繰 越 額	合 計 (A)			
水道事業資本的支出	23,483,011	△1,949,000	0	6,148,801	27,682,812	19,768,642	6,394,213	△1,519,957
建設改良費	16,912,014	△1,874,000	0	6,148,801	21,186,815	13,303,087	6,394,213	△1,489,515
配水管整備事業費	11,279,182	△1,991,000	0	4,166,941	13,455,123	9,147,997	3,331,052	△ 976,074
施設整備事業費	4,961,411	423,000	0	1,470,351	6,854,762	3,708,998	2,763,429	△ 382,335
受託等工事費	671,421	△ 306,000	0	511,509	876,930	446,092	299,732	△ 131,106
企業債償還金	5,540,997	△ 75,000	0	0	5,465,997	5,465,555	0	△ 442
その他資本的支出	1,000,000	0	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0
予 備 費	30,000	0	0	0	30,000	0	0	△ 30,000

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予 算 決 算 比 較 表

資本的収支

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 6 年 度 予 算 額					令 和 6 年 度	翌 年 度	増 減 額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△ 減)	流 用 増 減 額	繰 越 額	合 計 (A)	決 算 額 (B)	繰 越 額 (C)	(△ 減) (B)+(C)-(A)
水道事業資本的収入（再掲）	7,840,395	101,500	0	2,248,925	10,190,820	6,064,157	2,801,150	△1,325,513
水道事業資本的支出（再掲）	23,483,011	△1,949,000	0	6,148,801	27,682,812	19,768,642	6,394,213	△1,519,957
差 引	△15,642,616	2,050,500	0	△3,899,876	△17,491,992	△13,704,485	△3,593,063	194,444
補 て ん 財 源	20,244,541	740,953	0	3,899,876	24,885,370	22,517,628	3,593,063	1,225,321
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	1,448,898	△ 157,316	0	558,982	1,850,564	1,133,802	577,723	△ 139,039
損益勘定留保資金	7,610,088	0	0	3,340,894	10,950,982	7,754,863	3,015,340	△ 180,779
建設改良積立金	0	4,163,820	0	0	4,163,820	4,163,820	0	0
当年度純損益	2,004,464	898,269	0	0	2,902,733	4,447,872	0	1,545,139
前年度繰越金	9,181,091	△4,163,820	0	0	5,017,271	5,017,271	0	0
当年度末資金剰余額	4,601,925	2,791,453	0	0	7,393,378	8,813,143	0	1,419,765

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜き
の額である。

○資金不足比率

(単位：千円，%)

資金不足額 (A)	事業規模(※) (B)	資金不足比率 (A)/(B)
0	24,622,986	-

※事業規模＝営業収益－受託工事収益（消費税及び地方消費税抜き）

4. 建設改良事業の概要

(単位：千円)

事業名	令和6年度 事業費	主たる事業
配水管整備事業	9,147,997	【管路の更新・新設】 基幹管路更新 ・ 国見第一配水幹線（東照宮一丁目地内） ほか 配水支管更新 ・ 上飯田二丁目地内 ・ 西中田五丁目地内 ほか 基幹管路新設 ・ 花京院配水幹線（小田原一丁目地内） ・ 国見第二配水幹線（小松島二丁目地内） ほか 配水支管新設 ・ 中山台一丁目地内 ほか 総整備延長 48,086.8 m

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

4. 建設改良事業の概要

(単位：千円)

事業名	令和6年度 事業費	主たる事業
施設整備事業	3,708,998	【災害対策関連】 施設耐震化 ・ 松陵配水所改良及び耐震補強工事 配水機能強化 ・ 配水ブロック拡充再編関連工事(小田原地区) 長期停電対策 ・ 非常用自家発電設備更新工事(湯元送水ポンプ場・太白配水所) 災害時給水機能拡充 ・ 災害時給水栓設置工事(指定避難所 3箇所) 【安全対策関連】 ・ 中原水系苦地沈砂池油分計設置工事 【共同浄水場整備関連】 ・ 仙台市・塩竈市共同浄水場他基本設計等業務委託
受託等工事	446,092	【配水管等移設工事】 ・ 茂庭第一・第二配水幹線(郡山字谷地田東地内)移設工事 ・ 東八番丁小田原線電線共同溝設置に伴う配水支管移設工事

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。